

地方税における QR コード規格に係る検討会

(令和3年度第1回)

令和3年4月26日(月)

15:00~17:00

オンライン開催

次 第

1 開 会

2 議 題

地方税における QR コードの統一規格について

3 閉 会

[資 料 一 覧]

資料1 開催要綱

資料2 当面のスケジュール

資料3 地方税における QR コードの規格について

令和 3 年 4 月 8 日

地方税における QR コード規格に係る検討会 開催要綱

1. 趣旨・目的

新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえ、従来に増して迅速に地方税務手続のデジタル化を進めていく必要がある。このため、令和 3 年度税制改正においては、地方税共通納税システムの対象税目に固定資産税、自動車税種別割等の賦課税目を追加し、これらの納付を電子的に行うことができるよう、所要の措置を講ずることとしている。

「地方税における電子化の推進に関する検討会」（座長：辻琢也一橋大学大学院法学研究科教授）においては、この実現方策の一つとして、地方税の納付書における QR コードの活用が検討されているところであるが、当該 QR コードについては、地方税共通納税システムでの活用のみならず、地方税の金融機関窓口納付や、スマートフォン決済アプリを活用した納付においても活用されることが想定される。

こうした QR コードの使用場面を踏まえ、関係者において、地方税における全国統一の QR コード規格の検討を行うため、地方税における QR コード規格に係る検討会（以下「検討会」という。）を開催するものとする。

2. 検討事項

検討会においては、地方税（普通徴収）の収納において活用する QR コードの規格及び収納情報を地方団体に還元するデータの規格等を検討する。

3. 検討会構成員

【メンバー】

所属	内訳
地方団体関係	東京都、愛知県、福岡県、仙台市、横浜市、浜松市、神戸市、前橋市、三鷹市、豊橋市、東海市、川西市、高松市、庄内町、津幡町、宇多津町、飛島村
金融機関関係	全国銀行協会、全国地方銀行協会、第二地方銀行協会、全国信用金庫協会、全国信用組合中央協会、労働金庫連合会、農林中央金庫、ゆうちょ銀行
事業者関係	キャッシュレス推進協議会、日本マルチペイメントネットワーク運営機構、日本代理収納サービス協会
国等	総務省、地方税共同機構

【オブザーバー】

所属	内訳
地方団体関係	全国知事会、全国市長会、全国町村会
ベンダー	富士通 Japan、日本電気、日立製作所、日本電子計算、TKC、RKKCS、NTT データ
国等	金融庁

4. 運営

本検討会の事務局は、総務省及び全国銀行協会が担う。地方税共同機構は、必要な協力を行う。

5. 開催期間

令和3年4月以降、本検討会が解散を決議するまでの間

6. その他

本検討会は非公開とする。

資料および議事要旨は原則公開する。ただし、公開することにより、当事者若しくは第三者の利益を害するおそれがある場合など、検討会において必要と認める場合については非公開とする。

以 上

■ 4月26日(月) 15:00~17:00 第1回検討会(本日開催)

■ 5月中旬~下旬 第2回検討会

- ・ 第1回検討会を踏まえた論点整理等

■ 6月中旬~下旬 第3回検討会

- ・ 第2回検討会を踏まえた論点整理等
- ・ 地方税におけるQRコード規格とりまとめ

地方税におけるQRコードの規格について

地方税共通納税システムについて

- 法人は、その事業活動が複数の地方団体にまたがること、またその従業員が複数の地方団体から通勤するケースがあることから、地方税においては、紙ベースではなく電子的に申告等を行うニーズが高い。
- 令和元年10月からeLTAXに「地方税共通納税システム」が導入され、従来可能であった電子申告に加え、電子納税が可能となっている。

概要

<主なメリット>

納税者

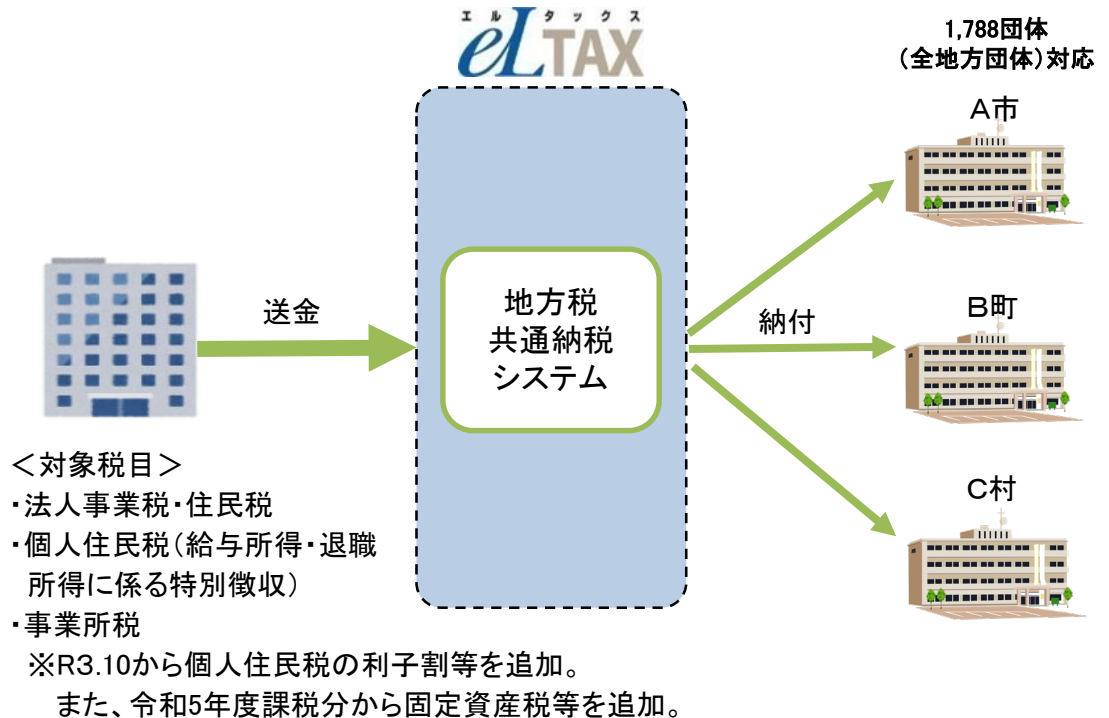
- 対象税目について、全ての地方団体に対して電子納税可能
- 合計税額をeLTAXに送金することで、複数地方団体への納付が可能

金融機関

- 窓口来訪者の減少による窓口業務の負担軽減
- 領収済通知書の処理に係る負担軽減

地方団体

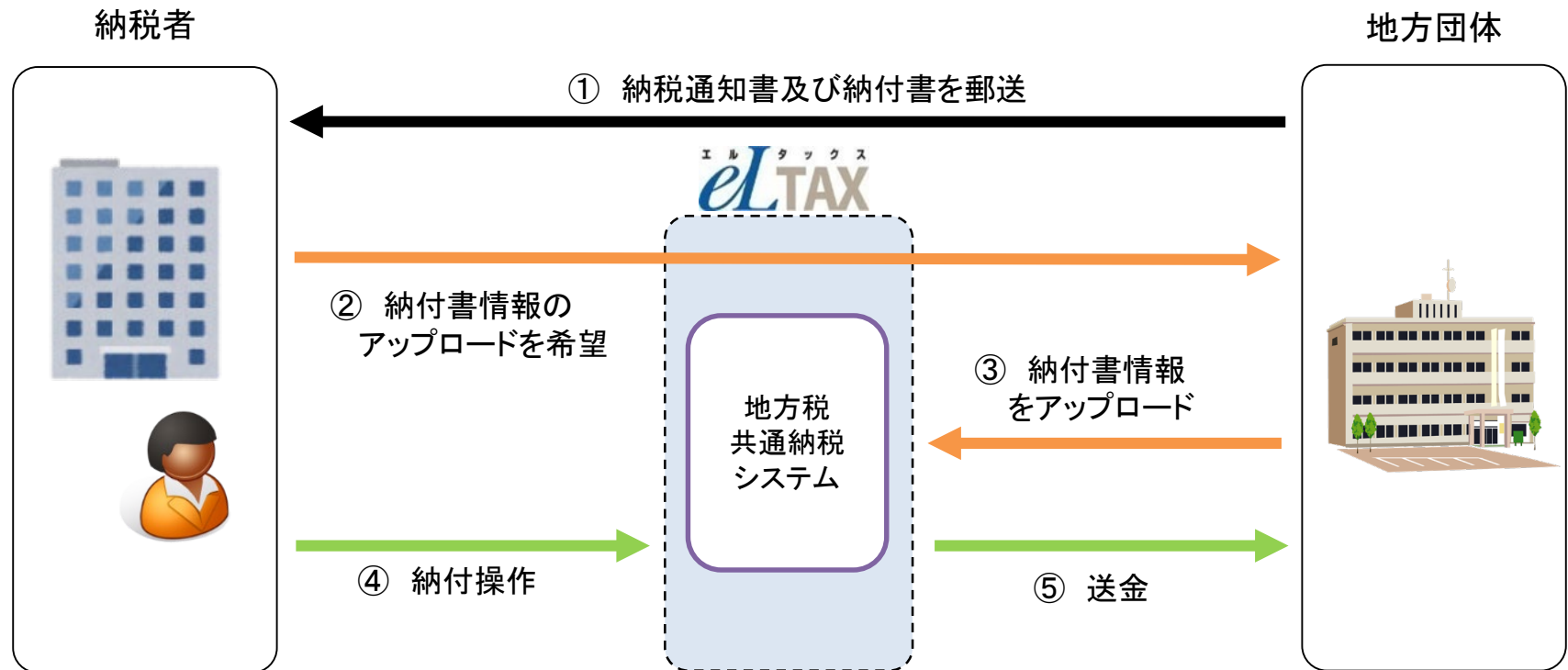
- 納付書の封入作業等の負担軽減
- 印刷費、郵送費等の負担軽減



地方税共通納税システムの対象税目の拡大

- 地方税共通納税システムの対象税目について、賦課税目である固定資産税、都市計画税、自動車税種別割及び軽自動車税種別割を追加(令和5年度以後の課税分について適用)。
- 地方税における電子化の推進に関する検討会においては、その実現方策として、地方団体が納付書情報を地方税共通納税システムにアップロードする案(アップロード案)を検討する中で、紙の納付書にQRコードを付すことについても検討を進めることとしている。

<アップロード案のイメージ>



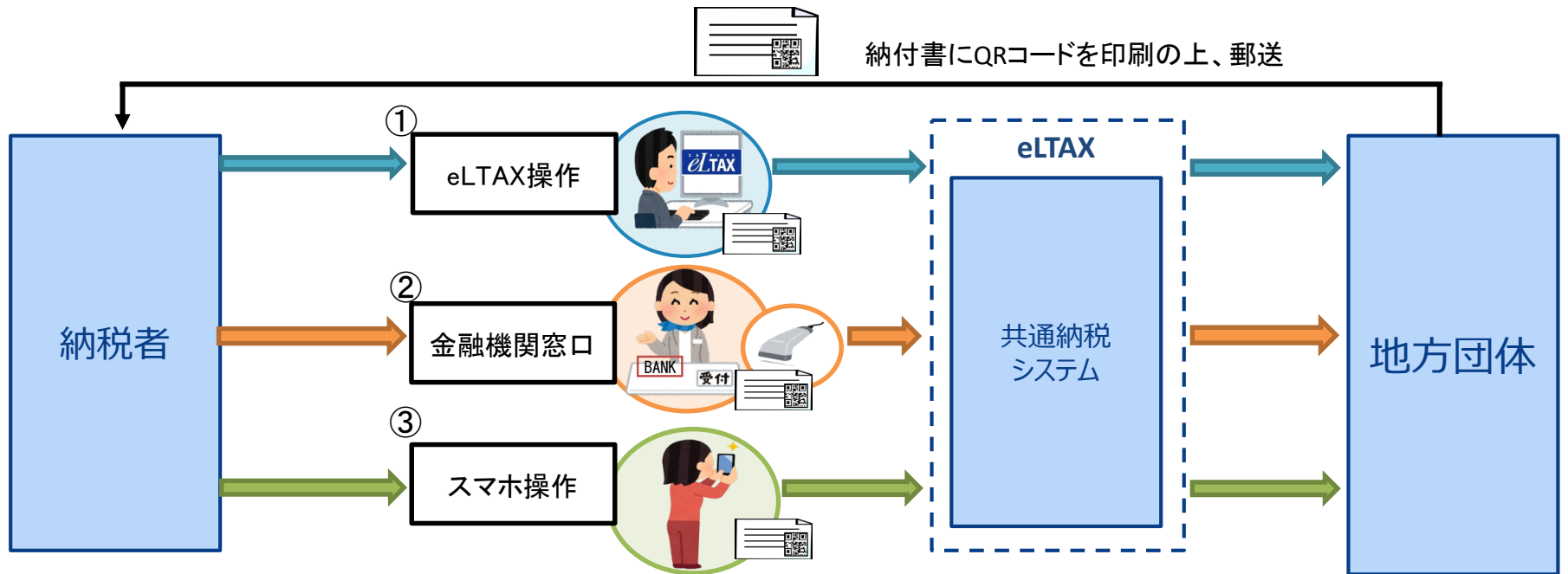
地方税におけるQRコードの活用について

1. 地方税におけるQRコードの活用について

- 固定資産税等の地方税(普通徴収)の納付書に統一規格のQRコードを付す。これにより、次のようなメリットがあると考えられる。
 - ① 地方税共通納税システムの賦課税目への対象税目拡大においては、納付書に付されたQRコードを活用し、これを読み込むことで、納税者の納付情報の入力等の操作が正確かつ簡単になる。
 - ② 金融機関窓口収納においては、金融機関がQRコードを読み取り、eLTAX(地方税共通納税システム)を経由して、地方団体に対し収納データを送信。現在、紙で行われている事務をデータの送受信で行う事により、金融機関、地方団体双方における事務負担を軽減。また、地方税共同機構が収納の事務を各金融機関に委託することで、指定金融機関等に限らず他の金融機関窓口での納税が可能となる。
 - ③ QRコードを活用したスマホ操作による納税が可能となり、いつでも・どこでも納税が可能となる等納税者の利便性が向上。

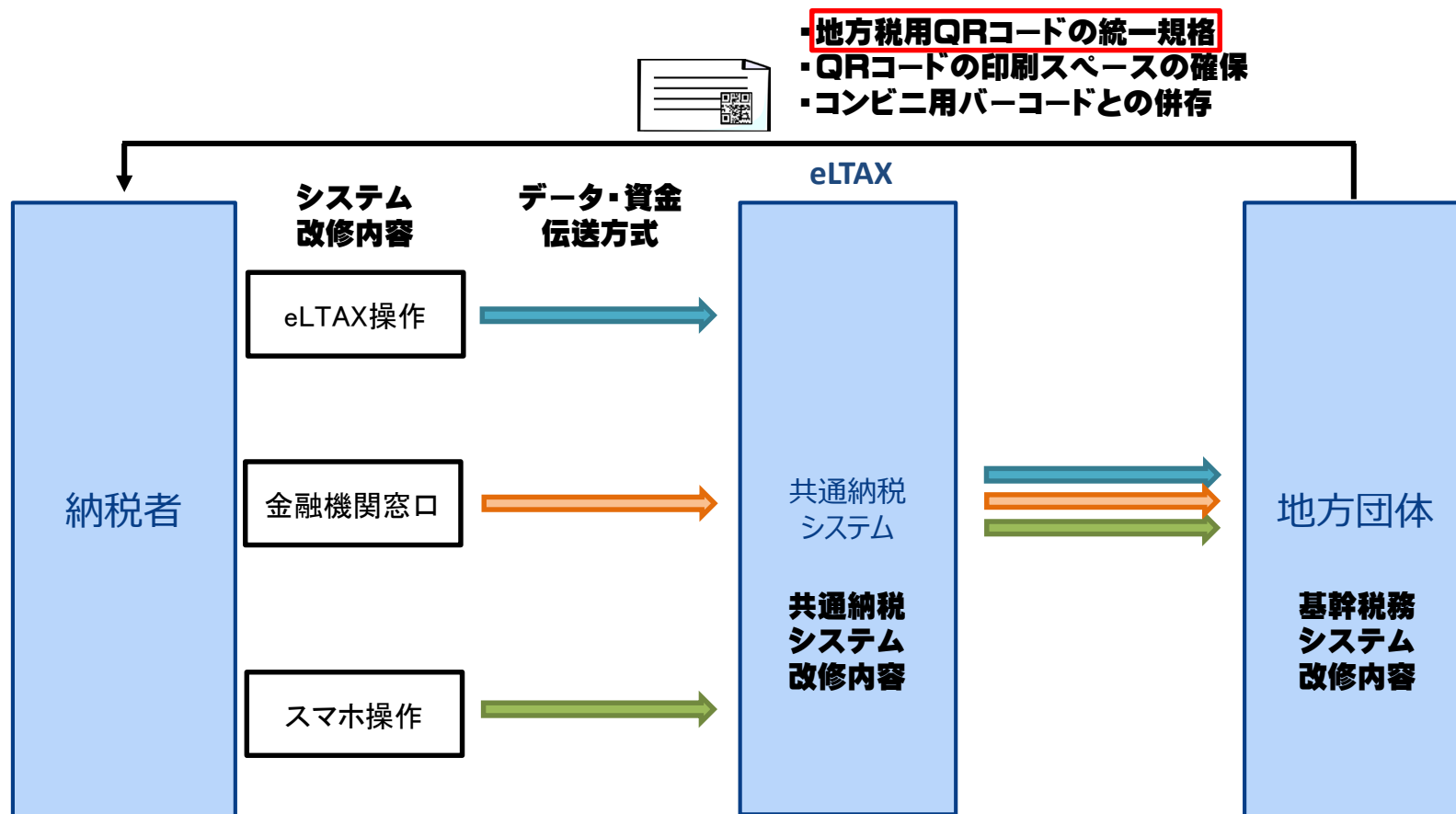
2. 実施スケジュール

- ①地方税共通納税システムでの納付、②金融機関窓口納付、③スマホ操作による納税の使用場面を想定し、本検討会において、地方税用QRコードの統一規格をとりまとめ、6月末までに公表。
- 関係機関のシステム改修・連携テストを経て、地方税共通納税システムの対象税目の拡大と合わせて、令和5年度課税分からQRコードの活用開始。



地方税におけるQRコードの活用に向けた主な検討事項

- 地方税におけるQRコードの活用に向け、関係各所において検討を要する事項が存在するが、本検討会においては、まずは6月末までに、納付書に印刷するQRコードの統一規格について検討する。



- ・各収納手段を地方税共通納税システムで利用する場合の制度的な整理
- ・関係者のオペレーションの簡素化、効率化

等

地方税用QRコード規格検討の前提(印刷スペース)

- QRコードを全国の地方団体が統一的に利用することを考えた場合、全国統一様式であるゆうちょ銀行の「カク公」帳票をもとに検討することが適当と考えられる。
- ゆうちょ銀行においては、日附印欄の下20mm程度のスペースの活用を想定しているため、これを前提にQRコードの規格を検討することが必要。

The diagram illustrates a Japanese tax receipt form (Kakko) with a QR code. The form is divided into several sections:

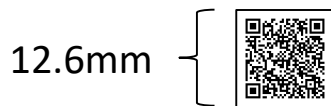
- Header:** Includes fields for "22 東京MT" (Prefecture/City), "払込取扱票" (Payment Receipt), and "通常払込科目" (Regular Payment Item).
- Amount:** A grid for entering the amount in thousands of yen (千円), with columns for 千 (thousands), 百 (hundreds), 十 (tens), and 円 (yen).
- Payment Information:** Fields for "加入者名" (Addressee Name), "料金" (Fee), and "備考" (Remarks).
- Barcode/ID:** A section with "32" and a long alphanumeric string: "1234567890AFHJKLPTVX-+*#1234567890AFHJK".
- Postcode and Date:** Fields for "郵便番号" (Postcode) and "日附印" (Date Stamp).
- QR Code:** A QR code is located in the bottom right corner, with a blue box around it. Dimensions are indicated: 20mm in height and 35mm in width.
- Bottom Section:** A section for "振替払込請求書" (Direct Debit Request Form) with a "日附印" (Date Stamp) and a note: "この受領証は、大切に保管してください。" (Please keep this receipt safe).

Additional notes on the form include: "この払込取扱票は機械で処理しますので、中央の欄を汚さないよう特にご注意ください。また、本票を折ったり曲げたりしないでください。(ゆうちょ銀行)" (This payment receipt is processed by a machine, so please be especially careful not to soil the center section. Also, please do not fold or bend this receipt. (Postbank)) and "切取らないでください" (Do not cut).

QRコードの大きさの考え方について

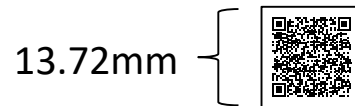
- QRコードの大きさは、
 - ・ 使用する文字種
 - ・ 格納する情報量(桁数)
 - ・ 採用する誤り訂正能力(汚れや破損している場合でも、QRコードのデータの読取りを可能とする機能)等により決まる。
- 今回の場合、印刷スペースが限られることから、QRコードの大きさから逆算してこれらの要素を検討する必要があるのではないかと。
 - ・ 通常使用される誤り訂正レベルやプリンタの性能を考慮しつつ、20mm程度のスペースに印刷のズレ等を許容するための余裕を加味してQRコードを印刷することを考えると、バージョン5~7が適当か。
 - ・ QRコード決済の統一規格JPQRを念頭にデータ項目を構成する場合には、必須項目が定められていることや、データ記述方法(TLV方式)の特性上、格納可能なデータ量が小さくなることに留意が必要。

<誤り訂正レベルM、1セル当たり0.28mmとした場合>



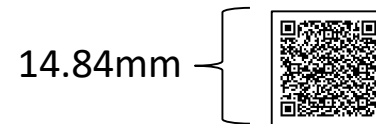
数字:202字
英数:122字

バージョン5



数字:255字
英数:154字

バージョン6



数字:293字
英数:178字

バージョン7

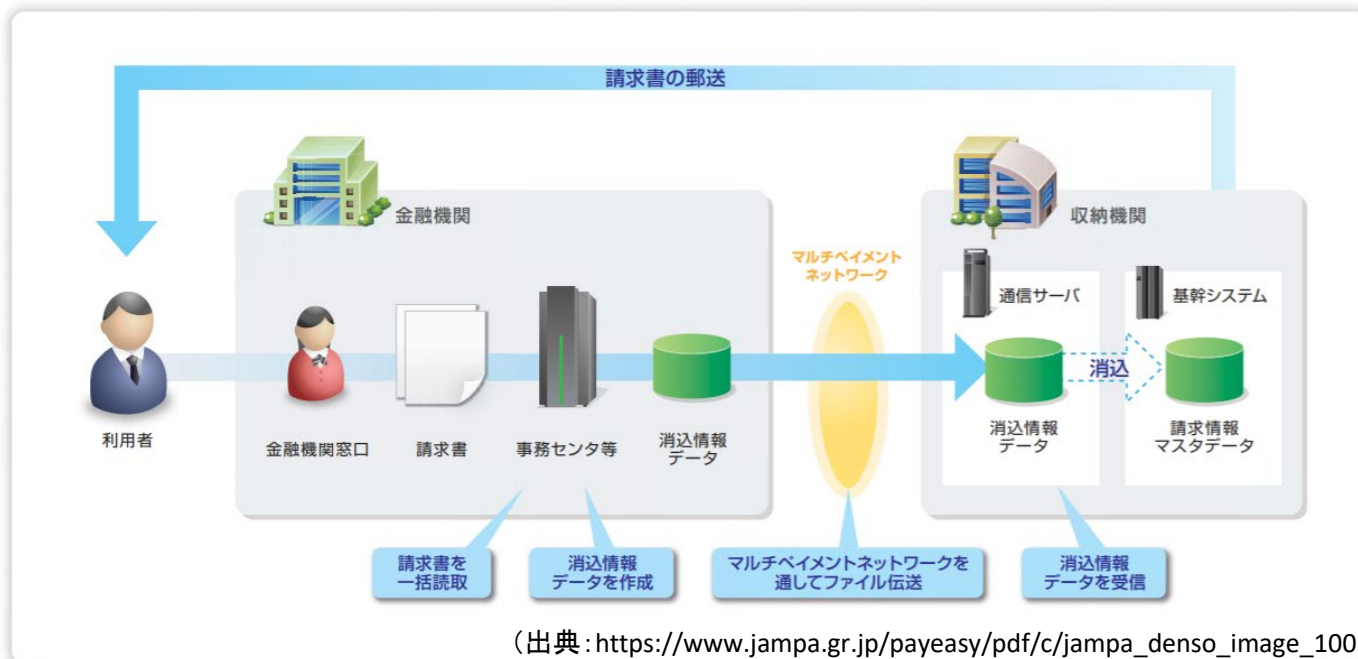
地方税用QRコード規格検討の前提(データ・資金の流れ)

令和5年度からQRコードの活用を開始するとのスケジュール及び関係機関におけるシステム改修の負担を踏まえると、既存の仕組みを可能な限り活用することが必要。

- ⇒
- ・ eLTAX操作から地方税共通納税システム、同システムから地方団体への伝送については、現在活用している伝送ルートを活用。
 - ・ 金融機関から地方税共通納税システムへの伝送については、マルチペイメントネットワーク(一括伝送方式)の活用が考えられるか。その場合、地方団体がMPN用OCR情報(83桁)に準拠した情報をQRコードに格納し、金融機関が当該情報を伝送することとなる(既存電文フォーマットを変更する場合には、改修規模が大きくなる。)

<ペイジー収納サービス「一括伝送方式」概要>

一括伝送方式は、金融機関が事務センタ等で**請求書・納付書をOCR処理**して一括消込情報を作成し、当該情報をマルチペイメントネットワーク経由で収納機関へファイル伝送する方式です。



QRコードの印刷スペースや伝送方式による制約を前提に、次の観点から、必要となる項目を精査。

- ① 納付時に活用するもの(納付画面における案件確認等)
- ② 納付情報等をeLTAX(共通納税システム)を経由して地方団体に送付するために必要なもの
- ③ 地方団体における消込みに必要なもの

※ この他、将来的な多用途(他の収納手段や地方税以外の公金)での活用も考慮

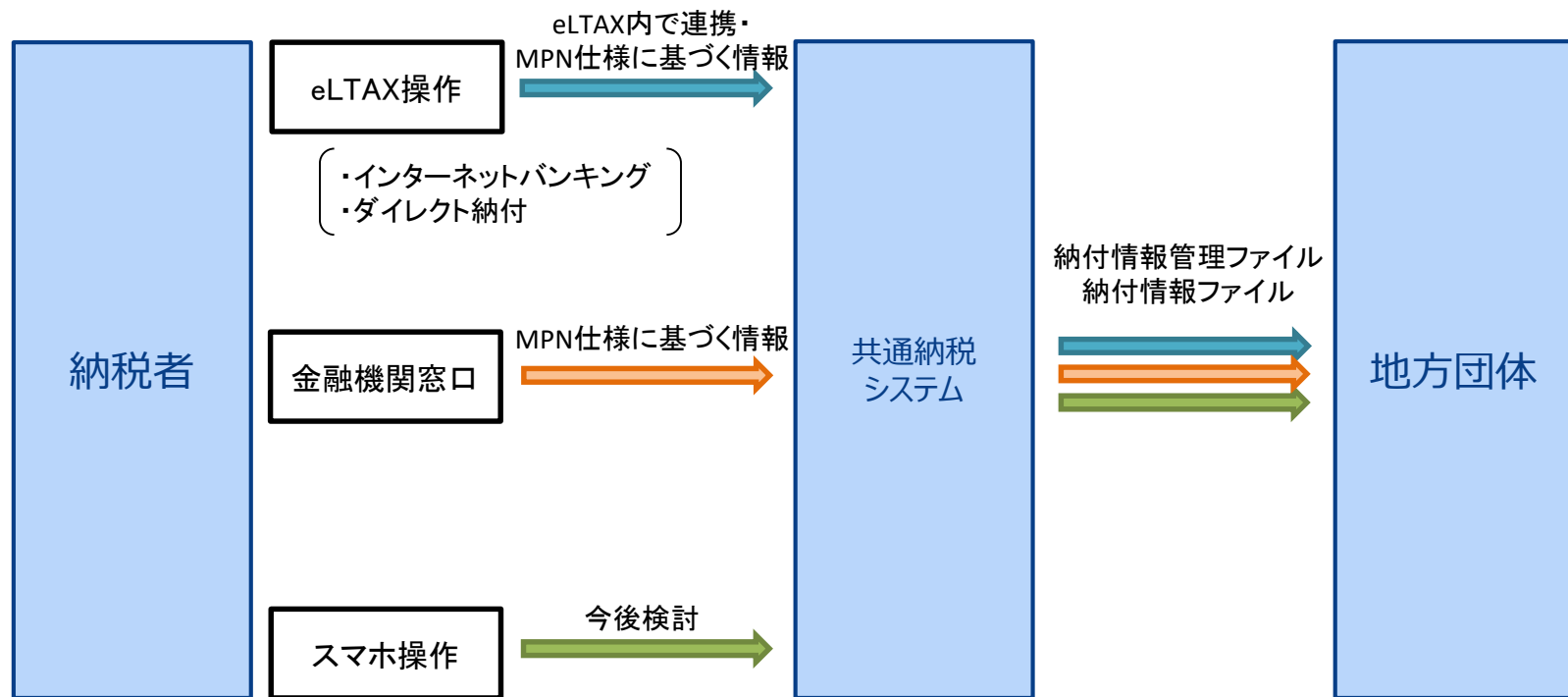
※ JPQR仕様との調整(JPQRにおける必須項目のうち、必ずしも地方税におけるQRコード活用において必要性がない項目の取扱い等)も必要

地方税用QRコードに格納するデータ項目(案)について

項番	項目	文字種	桁数	想定される内容
01	仕様バージョン (JPQR関係)	半角数字	2	"01"を設定
02	静的・動的フラグ (JPQR関係)	半角数字	2	"12" (動的/請求書払い) を設定
03	宛先情報 (JPQR関係)	半角数字	29	機構法人番号 (13桁)、統一店舗識別コード (16桁)
04	チェックディジット	半角数字	2	
	機構の口座番号	半角数字	11	機構の共通口座番号
	払込金額	半角数字	11	今回納付額合計
	払込手数料の加入者負担/払込者負担	半角数字	1	手数料の負担者を識別する項目
	機関ID (収納機関番号)	半角数字	5	機構をMPNの収納機関とする番号 "13800"
	印紙税の要否の別	半角数字	1	領収書への印紙の要否を識別する項目
	税目・料金 (納付区分)	半角数字	3	
	拡張領域	半角数字	5	
	チェックディジット	半角数字	2	
	団体番号	半角数字	5	地方公共団体コード
	税務事務所コード	半角数字	3	税務事務所コード
	案件特定キー	半角数字	20	地方団体が付番する案件特定キー番号
	確認番号	半角数字	6	地方団体が付番する確認番号
拡張領域	半角数字	8		
05	課税年度	半角数字	4	当該納付案件の課税年度 (西暦4桁)
06	対象年度	半角数字	4	当該納付案件の対象年度 (西暦4桁)
07	期別	半角数字	2	01=1期、02=2期、...
08	納期限	半角数字	8	当該納付案件の納期限 YYYYMMDD
09	支払期限	半角数字	8	QRコードを活用した支払期限 YYYYMMDD
10	延滞金の取扱い	半角数字	1	延滞金の受付の可否を識別する項目
11	消込キー情報	半角数字	44	地方団体の消込に必要な情報
12	拡張領域	半角数字		使用バージョン次第
13	eLTAX接続用URL	半角英数+記号		QRコード読取り後、eLTAXに接続するためのURL
14	チェックディジット	半角数字		
	合計			

地方団体への還元データについて

- 収納情報については地方税共通納税システムを経由することから、同システムで使用している「納付情報管理ファイル」及び「納付情報ファイル」を地方団体に還元することを想定。
- 金融機関から地方税共通納税システムに対しては、MPN一括伝送方式の仕様に従い、払込み金額等のQRコード格納項目(P.9の項番04)に加え、金融機関コード、金融機関店舗コード、収納日、金融機関処理日等の情報を送信。
- 現在の地方税共通納税システムにおいては、インターネットバンキング及びダイレクト納付以外の収納手段は実装されていないことから、それら以外の収納手段に係る還元項目等については今後検討。



参考資料

地方税における電子化の推進に関する検討会 概要

- 地方税の電子化の推進に向けた検討を行うため、学識経験者、地方団体、日本経済団体連合会、全国銀行協会、日本商工会議所、日本税理士会連合会、総務省及び地方税共同機構で構成される「地方税における電子化の推進に関する検討会」を設置。

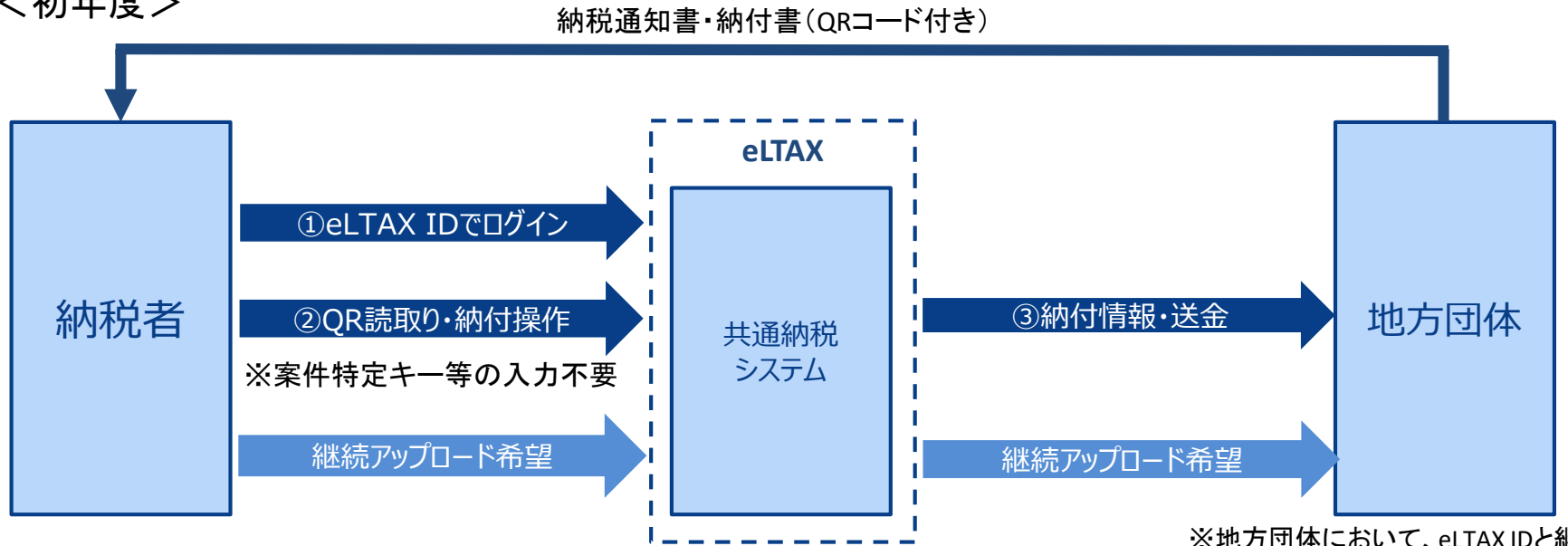
令和2年度構成員

(敬称略)

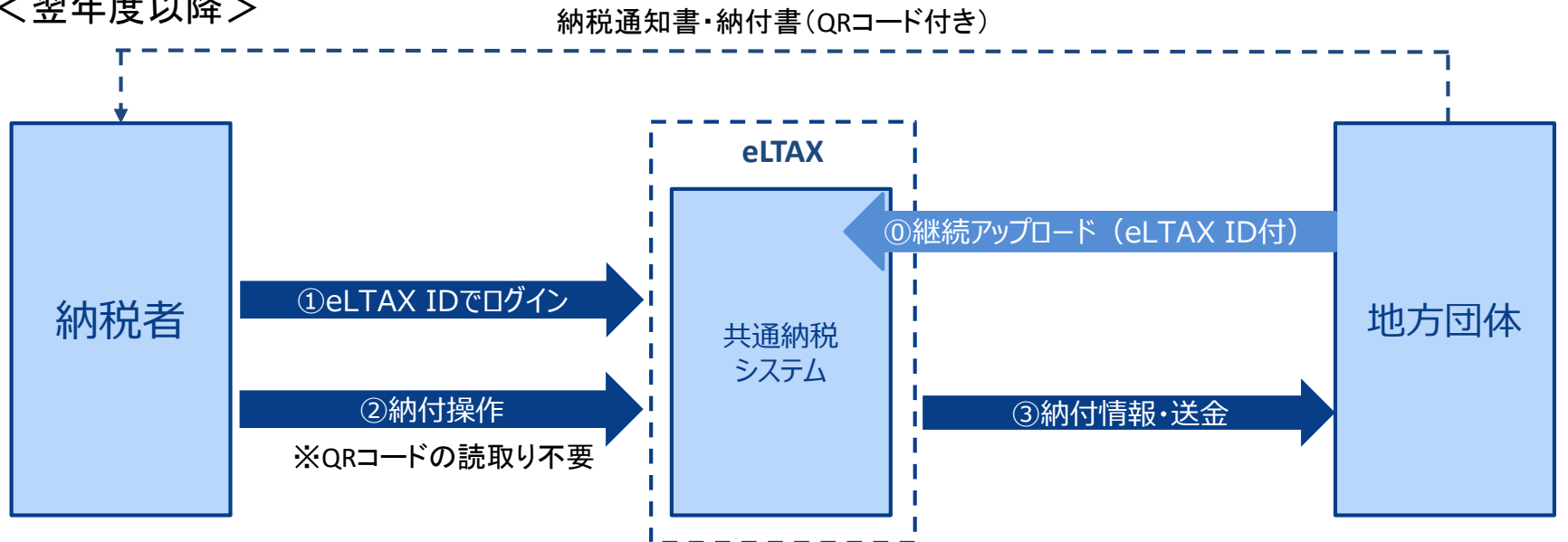
辻 琢也	一橋大学大学院法学研究科教授 ※座長
石井 夏生利	中央大学国際情報学部教授
小西 敦	静岡県立大学経営情報学部教授
庄司 昌彦	武蔵大学社会学部メディア社会学科教授
田中 啓之	北海道大学公共政策学連携研究部准教授
西山 浩史	福岡県総務部税務課長
田中 克	浜松市財務部税務担当部長
細山 英明	石川県津幡町総務部税務課長
小畑 良晴	日本経済団体連合会経済基盤本部長
高松 英生	全国銀行協会(三井住友銀行執行役員事務統括部長)
山内 清行	日本商工会議所産業政策第一部長
池田 直樹	日本税理士会連合会情報システム委員長
東 高士	総務省自治税務局電子化推進室長
松原 剛史	地方税共同機構事務局長

QRコード案イメージ(eLTAX IDを所有する納税者)

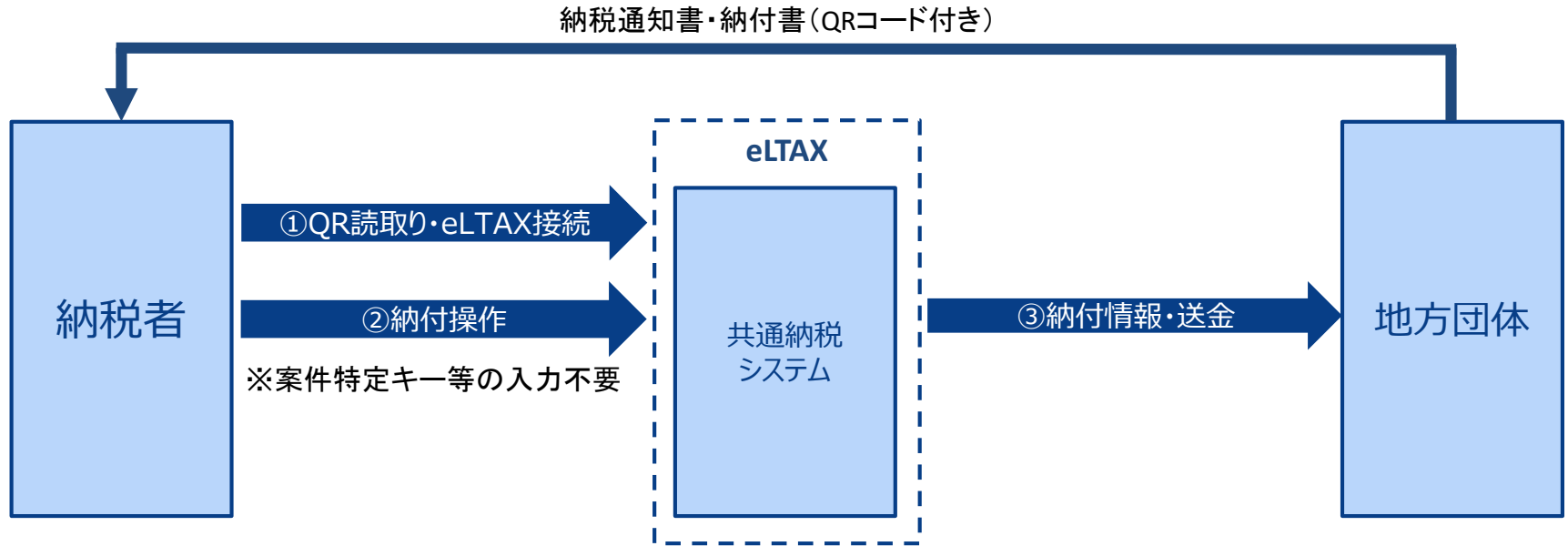
<初年度>



<翌年度以降>



QRコード案イメージ(eLTAX IDを所有しない納税者)

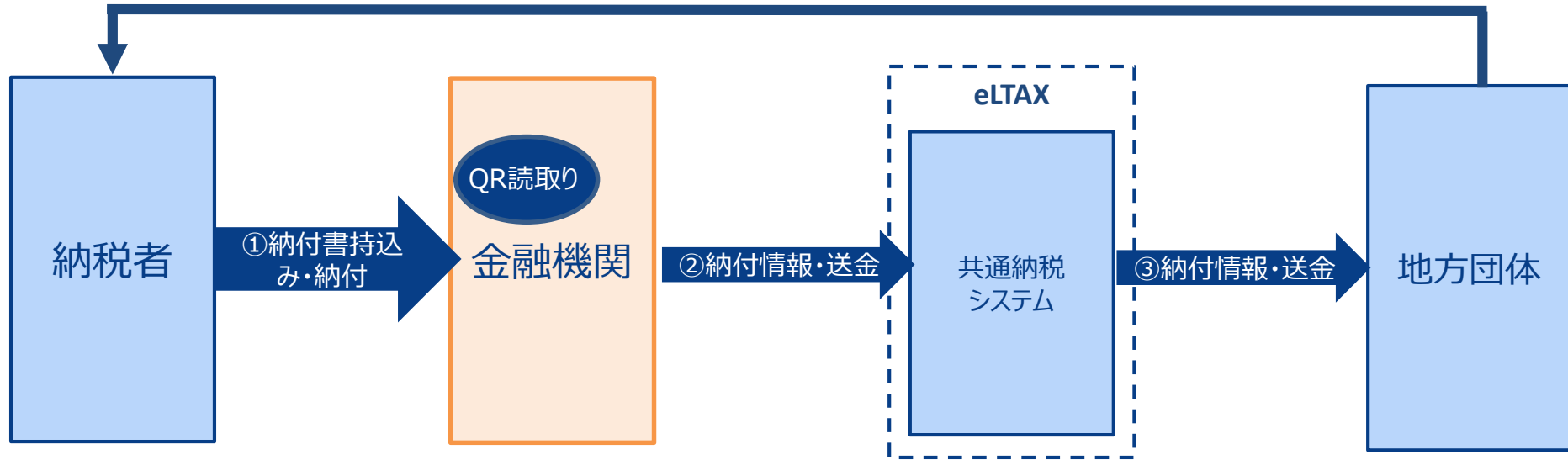


※ eLTAX IDと納付案件を紐付けて管理することができないことから、毎年度同様の手続

金融機関窓口納付及びスマホ納付におけるQRコードの活用イメージ

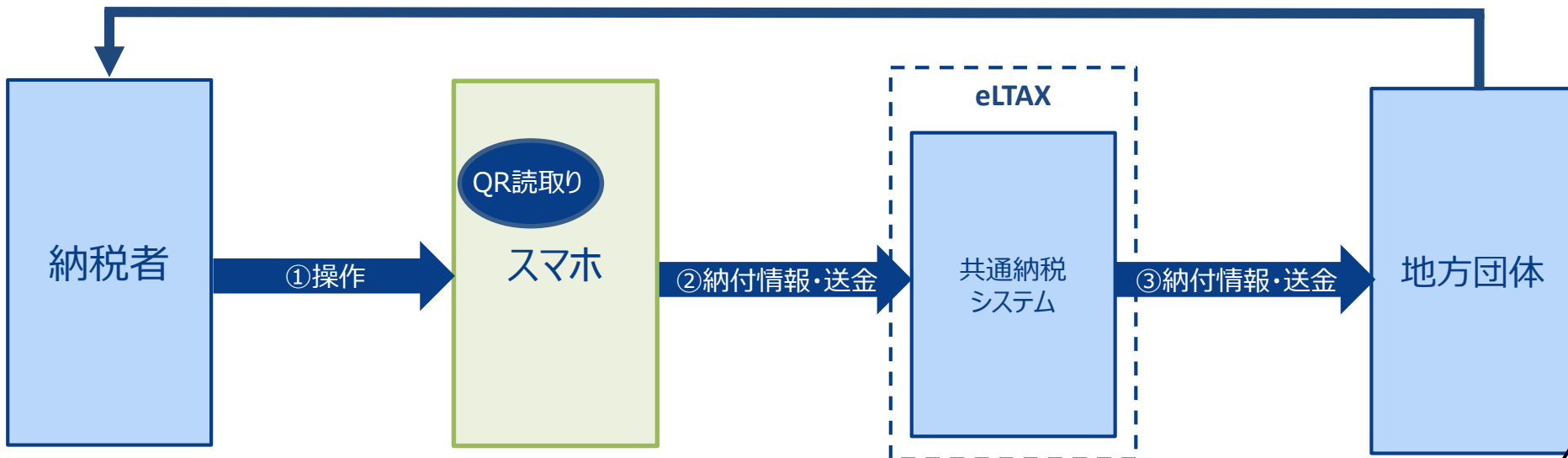
<金融機関窓口納付>

納税通知書・納付書 (QRコード付き)



<スマホ納付>

納税通知書・納付書 (QRコード付き)



QRコード1辺の長さ = (①1辺のセル数 + ②余白分セル数) × ③1セルの大きさ(mm)

①1辺のセル数

- ・ QRコード1辺のセル数は、QRコードのバージョン(種類)ごとに異なる(下記表参照)。
- ・ 使用するバージョンは、印刷スペースや、次の(1)~(4)を考慮して決定する。

- (1)データ量：当該QRコードに格納可能な情報量で、バージョンが大きくなるほど格納可能な量は増える。
- (2)文字種：格納する文字の種類であり、数字、英数字、バイナリ、漢字が選択可能。
- (3)誤り訂正レベル：汚れや破損している場合でも、QRコードのデータの読取りを可能とする機能。レベルL・M・Q・Hの4段階があり、一般的にはレベルM(コード面積の15%が汚れ・破損しても復元)での運用が多い。
- (4)(1)~(3)の組み合わせにより、格納可能な文字数は異なる。

②余白セル数

- ・ 余白セル数(マージン)は、周囲に4セル分(両端合わせて8セル分)以上必要。



③1セルの大きさ

- ・ 一般的に使用されるプリンタの性能(解像度360dpi)を踏まえ、1セル当たり0.28mmは最低限必要。

(QRコードドットコム(<https://www.qrcode.com/>)を参考に作成)

QRコードのバージョンごとの大きさ・データ量

当該文字種単独で格納可能な桁数

バージョン	セル数	余白加味セル数	誤り訂正レベル	データビット数 (混合)	数字	英数字
1	21 21×21	29	L	152	41	25
			M	128	34	20
			Q	104	27	16
			H	72	17	10
~						
4	33 33×33	41	L	640	187	114
			M	512	149	90
			Q	384	111	67
			H	288	82	50
5	37 37×37	45	L	864	255	154
			M	688	202	122
			Q	496	144	87
			H	368	106	64
6	41 41×41	49	L	1088	322	195
			M	864	255	154
			Q	608	178	108
			H	480	139	84
7	45 45×45	53	L	1248	370	224
			M	992	293	178
			Q	704	207	125
			H	528	154	93
8	49 49×49	57	L	1552	461	279
			M	1232	365	221
			Q	880	259	157
			H	688	202	122
~						
40	177 177×177	185	L	23648	7089	4296
			M	18672	5596	3391
			Q	13328	3993	2420
			H	10208	3057	1852

一辺の長さ (mm)			
0.17	0.28	0.33	0.5
4.93	8.12	9.57	14.5
~			
6.97	11.48	13.53	20.5
7.65	12.6	14.85	22.5
8.33	13.72	16.17	24.5
9.01	14.84	17.49	26.5
9.69	15.96	18.81	28.5
~			
31.45	51.8	61.05	92.5

1セルの
大きさ(mm)

MPN一括伝送方式における消込みデータについて

表5. 10. 2-1 MPNヘッダ部 (一括消込データ)

項番	項目	属性	設定内容
1	レコード識別子	an7	・'MPN△HDR'
2	データ識別コード	an5	・一括消込データの識別コード ・'MPN01'
3	被仕向センタコード	an10	・スペース
4	仕向センタコード	an10	・送信元金融機関又は共同利用センタのセンタコード
5	送信日	n8	・金融機関送信日付
6	MPN取扱日	n8	・オールゼロ
7	口座振替データ伝送サービス用情報	注1	・未使用 (収納機関コードにはスペース、収納機関コード以外にはオールゼロを設定)
8	レコード長	n3	・'200'
9	幹事金融機関収納区分	n1	・'1': 幹事金融機関のみ '0': それ以外
10	予備	an95	・スペース

注1: 項目及び属性は「表4. 4-1」を参照。

表5. 10. 2-2 ヘッダレコード (一括消込データ)

項番	項目名	属性	設定内容
1	データ区分	n1	・'1': ヘッダレコード
2	データ識別コード	an5	・'MPN01': 一括消込データ
3	コード区分	n1	・'0': JIS
4	収納機関コード	an8	・収納機関の機関コード
5	金融機関コード	n8	・収納金融機関の機関コード
6	入金日	n8	・収納機関が民間の場合: 取り決めた入金日を設定 ・収納機関が地公体の場合: オールゼロを設定 (注1)
7	納付金区分	n2	・'01': 一般料金 '02': 地方税、地公体料金
8	金融機関任意情報	an10	・金融機関が任意に使用可能 (未使用時はスペース) ※サブファイルの識別として使用する場合、事前に収納機関と取り決める。
9	予備	an157	・スペース

注1: 収納機関が地公体の場合でも、地公体・指定金融機関等との間で調整すれば、取り決めた入金日を設定することも可能。

表5. 10. 2-3b データレコード (一括消込データ・地方税、地公体料金用)

項番	項目名	属性	設定内容
1	データ区分	n1	・'2': データレコード
2	チャネル区分	n2	・'10': 一括伝送方式
3	納付金区分	n2	・'02': 地方税、地公体料金
4	入力区分	n2	・金融機関事務センタ等における入力方式 ・'02': OCR ('03': バーコード)
5	収納識別情報	an90	・利用者、請求書等を特定するためのキー情報 (注1)
6	収納金額	n11	・利用者から収納した金額 ・納付額+延滞金
7	納付額	n11	・OCR情報 (またはバーコード情報) から読み取った金額
8	延滞金	n8	・延滞金がある場合、金額を個別に設定
9	予備	n12	・オールゼロ
10	他店券金額	n11	・他店券で支払われた金額を個別に設定
11	金融機関店舗コード	n6	・収納を行った金融機関の店舗を表すコード
12	収納日	n8	・利用者が金融機関チャネルにおいて支払いを行なった日付を個別に設定
13	金融機関処理日	n8	・金融機関事務センタ等で入力処理を行った日付
14	金融機関内処理通番	n8	・金融機関処理日 (項番13) における一連番号
15	手数料負担区分	n1	・OCR情報から読み取り設定 ・'0': 利用者負担なし '1': 利用者負担あり
16	税目・料金番号	n3	・オールゼロ
17	チャネル区分2	an2	・取り扱いチャネルを設定する。 ・'スペース': 窓口 '02': ATM
18	予備	an14	・スペース

(注1) OCR情報(an83)を読み取り、1段目、2段目の順で設定。残りはスペース。ゆうちょ銀行のみチェックデジット (1 行目の先頭2桁) をゼロに書き換える。

表5. 10. 2-4b トレーラレコード (一括消込データ・地方税、地公体料金用)

項番	項目名	桁数	設定内容
1	データ区分	n1	・'8': トレーラレコード
2	納付金区分	n2	・'02': 地方税、地公体料金
3	データレコード件数	n8	・データレコードの件数
4	収納金額合計	n13	・データレコードの合計
5	納付額合計	n13	・予備はオールゼロ
6	延滞金合計	n10	
7	予備	n16	
8	他店券金額	n13	・データレコードの合計
9	予備	an124	・スペース

表5. 10. 2-5b エンドレコード (一括消込データ・合計値あり)

項番	項目名	桁数	設定内容
1	データ区分	n1	・'9': エンドレコード
2	データレコード件数合計	n10	・全トレーラレコードのデータレコード件数の合計
3	収納金額総合計	n15	・全トレーラレコードの収納金額合計の合計
4	予備	an174	・スペース

MPN用OCR情報(83桁)について

図4-2:地公体帳票(申告課税以外)への収納機関番号の設定例

<地公体帳票(申告課税以外)の場合>
 * OCR行への設定例 * 現行MT帳票の、ゆうちょ銀行使用エリア

CD	加入者の口座番号(11)	払い込み金額(11)	①	機関 ID(5)	②	税目・料金	加入者使用桁 (5)
57	01234678901	00000011111	2	12345	0	013	00000

CD	加入者使用桁(42)
47	020902101167890000123456789012300001111100

注:①払込手数料加入者負担/払込者負担の別
 ②印紙税の要否の別

* 帳票上の印刷例 *

収納機関番号	納付番号	確認番号	納付区分
12345	12-34567-89012-3	1234	013

(出典)マルチペイメントネットワーク標準帳票ガイドライン

○ 統一動的QRコードの格納データ

- ・ コード決済に関する統一技術仕様ガイドライン(店舗提示型)(一般社団法人キャッシュレス推進協議会)において、次のデータを格納することとされている。

項目名	Tag	存在	内容
仕様バージョン	“00”	必須	例) “000201”
静的動的フラグ	“01”	必須	例) “12” (動的 QR コードの場合)
契約店情報	“26”~“51”	必須	統一店舗識別コード
業種	“52”	必須	契約店の業種 (ISO 18245 に従った分類)
取引通貨	“53”	必須	通貨コード (円は“392”)
取引金額	“54”	任意	取引金額 (チップ除く)
国コード	“58”	必須	国コード (日本“JP”)
契約店名	“59”	必須	英字表記による契約店名
契約店所在地	“60”	必須	英字表記による契約店 所在地
契約店郵便番号	“61”	必須	契約店所在地の郵便番号
契約店情報 (日本語)	“64”	必須	日本語による契約店 に関する情報
チェックディジット	“63”	必須	チェックディジット

○ 記述方式

- ・ JPQRは、記述方式としてTLV(Tag Length Value)方式を採用。
- ・ 格納したい項目の桁数に加え、Tag(2桁)とLength(2桁)を各項目ごとに記載する必要があることから、内容だけを記載するよりも必要な桁数が多くなる。

-Tag…項目の識別子である番号(2桁)

-Length…当該項目の内容(Value)の桁数(2桁)

-Value…当該項目の内容

例) 000201010212…

→ Tag01(静的動的フラグ)の内容は2桁で、「12(動的)」。

→ Tag00(仕様バージョン)の内容は2桁で、「01(バージョン1)」。